

令和8年度 美祢市人権教育ふれあい講座・リーダー講座



共に学び！共に生きる！



～一人ひとりの人権が尊重された心豊かな地域社会の実現に向けて～

【第1講座を開催して】

7月27日（月）、美祢市民会館大ホールにおいて、令和8年度美祢市人権教育ふれあい講座（第1講座）を開催しました。

『外国人問題』をテーマとして、ほうふグローバルネット 代表 松浦 和子（まつうら かずこ）氏から、「身近な地域から考える外国人との多文化共生」と題して、御講演いただきました。



御講演では、先生自身が青年海外協力隊で『外国人』としてヨルダンに滞在された経験をもとに、日本で暮らす外国人の方が感じている困り感を話していただき、大変わかりやすかったです。特に印象的だったのが、「やさしい日本語」の部分で、自分でも力になれることがあるかもしれないと感じました。

【受講者の主な感想】

- ・外国人が身近にたくさんおられることに驚いた。また、草の根で様々な交流ができていうでうれしい気持ちになった。自分も何が出来るか考えていきたい。
- ・日本には今、外国人が多くいて、お互いに理解できていない部分があったり、距離があったりすることがあるが、相手の立場に立って考えるということは誰に対しても大切であることを改めて感じました。やさしい日本語なら約半数の方に伝わることがわかったので、英語などが話せなくても、外国人とコミュニケーションをとることも大切だと思いました。
- ・今回の講座では、NPO 法人ほうふグローバルネット代表理事・松浦和子さんの講演を通して、地域における外国人住民との共生について多角的に学ぶことができた。特に、自治会アンケートで示された「外国人住民の困りごと」の中で、ゴミの出し方や分別ルールに関する課題が最も多かったという結果は、日頃ニュースでも取り上げられる内容であり、地域の現実として改めて受け止める必要があると感じた。多言語での案内や支援が求められることはもちろんだが、講演で紹介された「やさしい日本語」の重要性にも強く共感した。以前、国語の教科書にも掲載されていた教材を思い出し、外国人住民への配慮だけでなく、日本語の理解に困難を抱える人や障害のある人にとっても有効なコミュニケーション手段であることを再認識した。また、山口県在住外国人アンケートで「母語以外に理解できる言語」として、英語より

も「やさしい日本語」が最も高い割合を示していたことには驚きを覚えた。国語科教員として、地域社会での実践と教科教育をつなげながら、この「やさしい日本語」の意義を生徒にも伝えていきたい。

さらに、講演を通して、自分自身がこれまでの経験や環境によって形成された「価値観」に無自覚にとらわれてしまう危険性についても考えさせられた。子どもたちはなおさら、限られた体験や偏った情報によって価値観を形づくりがちである。教育に携わる者として、特定の価値観に基づく一面的な判断を押しつけるのではなく、多様な背景をもつ人々への理解を促し、広い視野で物事を捉えられるよう支援する姿勢が求められると感じた。今回の講座で得た学びを、学校現場での指導や地域との連携に生かし、外国人住民を「見えない存在」にしない地域づくりに寄与していきたい。

- 外国の方との多文化共生について実体験に基づいて話をされていたので分かりやすかったです。グローバル化が進む昨今において、思いやりをもって接することが大切なことであると感じました。
- 初めて知った話が多く、とても興味深かったです。講師の先生の話も、ご自身の経験から感じたことを入れながら話されていたので分かりやすかったです。〇〇人だから～という大きな括りで物事を捉えることは危険だということが分かりました。知らないことが多いと、どうしても国籍で人を見てしまいがちですが、一緒に関わることのできる仲間として見れるようになりたいと思いました。また、それは同じ日本人同士にも言えることだなと思いました。
- 青年海外協力隊のお話や防府市での活動のお話など、とても興味深く聞かせていただいた。外国の方を目にする機会は増えていると実感している。外国人の方と接するにあたり、英語が出来ないと交流できないと考えがちであったが、やさしい日本語が一番通じやすいということを知った。街で外国の方がお困りの様子であれば、やさしい日本語を使うなどしてお助けしてあげたいと感じた。
- 通勤中に、自転車に乗った外国人労働者に出会います。身近にいるにもかかわらず、関わることはありませんでした。今後、出会うことがあり、困っていることがあれば、『ちょっとした手助け』をしてみたいと思います。
- 美祢市でも多くの外国人の方が生活しておられ、日々の生活で不自由に感じられたり、分かりにくいことがあるかもしれないと思いました。何かお困り事がありそうな時は、さりげなく寄り添える、声をかけられる存在でありたいと思いました。日常生活の中で人権感覚の大切さを感じるということがよくあります。相手の立場や気持ちを尊重し、思いやりを持ってかわりたい、特にことばには気をつけたいと思います。みんなが幸せに過ごせる美祢市になること、そのためにはまず私自身が自覚を持って行動することだと改めて思いました。今日はありがとうございました。
- 自分の住む地域や職場のある地域でも、外国人の方を見かけます。共に、気持ちよく生活できたらと思います。また、日本に来てよかったとっていただきたいと思います。一緒に関わる機会があれば、「やさしい日本語」を意識して話したいと思います。そして、思い込みのない接し方に気をつけたいと思います。